

2026年度活動計画及び収支予算

日本の森林・林業は、材価の低迷や林業労働者の減少・高齢化など構造的な問題を抱えて非常に苦しい状況にある。しかし、近年、これまでの木材生産中心で、しかも針葉樹の住宅建材を中心とした林業の概念を打ち破るような様々な動きが出てきている。広葉樹を見直す動きや、森林の環境価値を経済化する動きや、木材の新しい用途開発など、日本林業の新しい可能性を広げるニューフロンティアが注目されている。また、森林を基盤とした「森業」と呼ばれる新しい産業の創出の動きもあり、林野庁は「森業振興室」を設置したところである。2026年度の研究テーマは、「森林業のニューフロンティア」ということで、以下のことに取り組む。

1. 定例研究会 3ヶ月に1回程度開催
2. 共同取材 年間テーマに基づいて年1~2回実施
3. 会報の発行 林政ジャーナルを年2回程度発行
紙による発行を廃止し、webによる発行とする。
4. 幹事会 3か月に1回程度開催(原則として第2水曜日)
5. ホームページによる情報発信
6. 事務局事務を(株)森未来に委託する。
7. 「持続可能な森林経営のための勉強部屋」の研究活動との連携を図る。
8. 収支予算

日本林政ジャーナリストの会2026年度収支予算(案)

2026年度(2026年4月～2027年3月)の収支予算

(単位:円)

項目			前年度予算	本年度予算	備考	
収入	前期繰越金		2,208,484	1,278,051		
	1	会費 個人会員	当年度会費 371,000	329,000	7,000×47人	
		会費 団体会員	当年度会費 340,000	340,000	20,000×17 団体	
	会費収入合計		711,000	669,000		
	2	雑収入		10,000	10,000	
	当期収入合計		721,000	679,000		
	合計		2,929,484	1,957,051		
支出	1	研究会費	講師謝礼	120,000	120,000	講師4名
			会場費	40,000	40,000	研究会4回
			小計	160,000	160,000	
	2	共同取材費		200,000	300,000	
	3	会報発行費		300,000	60,000	
	4	会議費	総会費	50,000	50,000	
			幹事会費	10,000	10,000	
			小計	60,000	60,000	
	5	事務局委託費		—	240,000	(株)森未来
	6	事務費	通信費	50,000	10,000	
			広報・印刷費	100,000	70,000	HP 維持費他
			事務用品費	10,000	10,000	
			交際費	20,000	10,000	
			資料購入費	20,000	10,000	
			小計	230,000	110,000	
7	雑費		20,000	10,000		
8	予備費		10,000	10,000		
当期支出合計		980,000	950,000			
当期収支差額		△259,000	△271,000			
次期繰越額		1,949,484	1,000,751			